

親愛なる intacs e.V. メンバー、SPICE アセッサー、そして intacs® の友人の皆様！

年の瀬も近づいてまいりましたので、来る数か月中に期待されている重要な変化についてお知らせさせていただきます。新しい AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 はリリースを間近に控えています。iNTACS は VDA QMC® ワーキンググループ(以下 WG) 13 と緊密に連絡を取り合いながら、この新しい PAM に関連するトレーニングのカリキュラムや教材の更新に取り組んでいます。新体系のトレーニングは間もなくスタートしますので、引き続きご関心をお寄せください。

iNTACS の各 WG から多くの成果が上がっています。以下の記事にてご紹介してまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

“情報管理”WG

目次

エグゼクティブボードからのお知らせ.....	2
AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 アップグレードトレーニング	2
Gate4SPICE の申請と参加に関する規制	2
iNTACS の各 WG からのお知らせ	3
iNTACS “新規トレーニングコースおよびコーディネーション”WG からのお知らせ	3
iNTACS “ハードウェア PAM”WG からのお知らせ	5
iNTACS “機能安全”WG からのお知らせ	6
Gate4SPICE イベント：“品質優位の原動力：メルセデスベンツ R&D イント”社が Gate4SPICE イベントを主催”	8
免責事項、商標および商号.....	11
商標	11
翻訳	12
ご意見およびフィードバック	12

エグゼクティブボードからのお知らせ

AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 アップグレードトレーニング

AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 に基づく アセスメントを実施するためには、アセスメントチームリーダー（リードアセッサー）が責任をもって、使用するアセスメントモデルに対してアセッサーチームが有効な資格を有していることを保証する必要があります。従って PAM 4.0 に基づくアセスメントを実行する前に、アップグレードトレーニングの受講が必須となります。アップグレードトレーニングは各トレーニングプロバイダーが実施します。

アセッサー資格の(再)認証に提出するアセスメントログは、必ず新しいテンプレートをご利用いただきますようお願いいたします。テンプレートは“Assessor Certification Documents”のダウンロード欄 ([link](#))にてご入手いただけます。

Gate4SPICE の申請と参加に関する規制

Gate4SPICE イベントに申請される方は、有効な認証番号のご提示が必要です。ご提示が無い場合には、申請が認識されない恐れがありますので、ご自身のアクセスデータが失効している場合は、iNTACS のユーザーサポートまで早期にご連絡願います。 usersupport@intacs.info

ちなみに IT ルールとして、認証番号の無い重複アカウントは定期的に削除しております。

Gate4SPICE (G4S) イベントは通常すぐに満席になってしまいます。新しい情報を入手し、エキスパートらと意見交換ができ、かつ EE も獲得できるため、大変な人気を博しております。ですが残念なことに、登録だけしておいてお越しにならないケースが頻発しております。このようなことは他のご希望者にとって大変理不尽ですので、ご参加が難しいとお分かりになり次第、必ずキャンセルをお知らせいただきますよう、重々をお願い申し上げます。ルール違反の際の処置について、以下をご参照願います。

- 申請した G4S イベントの 7 日前までに事前キャンセル通知なくご欠席された場合は、リストに挙がります。
- その後 12 か月以内に再発(7 日前までに事前キャンセル通知なくご欠席)した場合には、以降 12 か月間は G4S イベントへの参加が謝絶されます。ただし、キャンセル待ちリストへの登録は可能で、申請期限を過ぎても空きがある場合のみ、参加は可能です。



エグゼクティブボード担当者:

Lars Dittmann (lars.dittmann@intacs.info)

iNTACS の各 WG からのお知らせ

iNTACS “新規トレーニングコースおよびコーディネーション”WG からのお知らせ

AUTOMOTIVE SPICE® 4.0 の教育プログラムおよび 4.0 へのトランジションに関する最新ニュースを、みなさまにお届けできることを大変嬉しく思います。AUTOMOTIVE SPICE® 4.0 のリリースに伴って、トレーニング体系がプロセスエキスパートレベルまで拡張されます。ご存じの通り、自動車業界において優位を保つためには、最新の業界標準にキャッチアップしていく必要があります。我々のトレーニングコースは、AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 を使ったアセスメントや指導の際に必要な知識やスキルが獲得できるように設計されています。

AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 のご紹介

図 1 の通り、AUTOMOTIVE SPICE® に初めて触れる方は、プロセスエキスパートトレーニングの受講から始めることになります。

新規 intacs® トレーニングアーキテクチャ

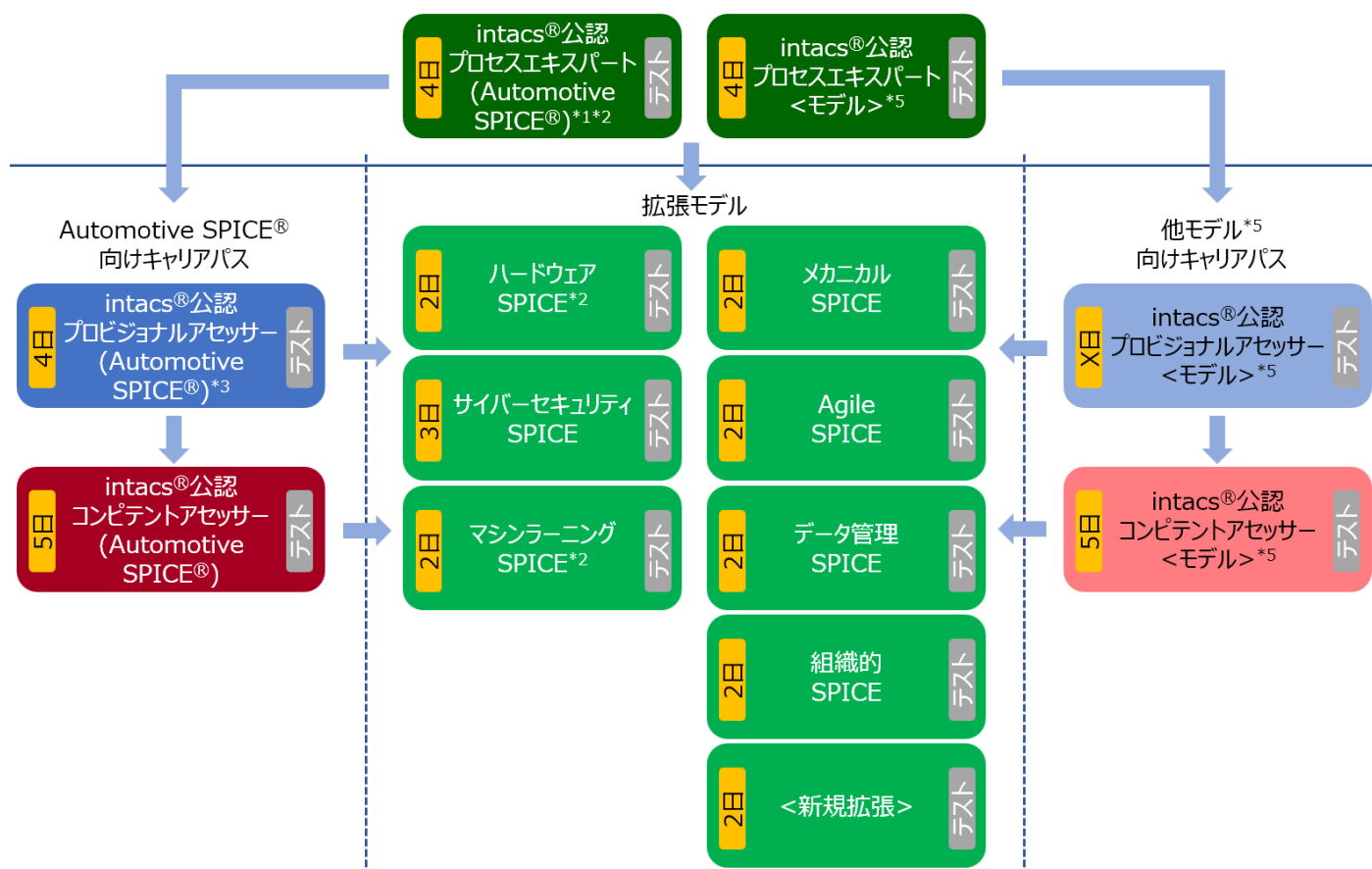


図 1: AUTOMOTIVE SPICE® PAM4.0 の新規トレーニング体系

*1 HWE および MLE を除くコア PAM*4 4.0 のプロセスを含み、プロセス改善に重点を置く

*2 ガイドラインの説明部分全体を含む

*3 ガイドラインの評定部分全体を含む

^{*4} AUTOMOTIVE SPICE® 4.0 のコア PAM とは、基本/システム/ソフトウェアのプロセスを含む（拡張であるハードウェアやマシンラーニングは含まない）

^{*5} メディカル SPICE や IT サービス向け SPICE、組織的 SPICE、テスト SPICE、ISO/IEC TS 33061（ソフトウェアライフサイクル）といった他のモデル

プロセスエキスパートトレーニングを履修することによって、AUTOMOTIVE SPICE® のフレームワークに基づくソフトウェア開発プロセスの実装に必要な専門的知識やスキルを獲得できます。ここで得る専門知識によって、社内におけるプロセス改善活動に貢献し、自動車業界の標準に対する準拠を保証することができます。

本トレーニング合格後は、AUTOMOTIVE SPICE® のアセッサーを目指して、コ・アセッサー資格であるプロビジョナルアセッサートレーニングや、更にはリードアセッサー資格であるコンピテントアセッサートレーニングへとキャリアアップしていただけます。

モジュール制トレーニング制度

上述した AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 のトレーニングとは別途、多様なドメインに関する専門知識をご提供するために、それら各ドメインに関するトレーニングモジュールもご用意しております。トレーニングメニューには、サイバーセキュリティやハードウェア、マシンラーニングなどがございます。こちらのトレーニングでは各ドメインに関する重要な知識や洞察が得られます。トレーニング終了前には理解度を評価するためのテスト受験が必要です。

自由度および認証

トレーニングを選ぶ際に自由度が重要だということは、私たちもよく理解しております。従って各ドメイン向けの拡張トレーニングモジュールについてはオプションとしております。その理由は、アセッサー資格の核となるのはコア PAM であるためです。コア PAM とはサイバーセキュリティやハードウェア、マシンラーニングなどを除外した AUTOMOTIVE SPICE® PAM の中核部を指します。アセッサー資格はコア PAM が拡張モジュールによって補完される場合にのみ認証されます。拡張モジュールだけでは認証には至りません。

AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 へのトランジション

2024 年の第 1 四半期中に AUTOMOTIVE SPICE® 4.0 アップグレードトレーニングが開講いたします。本トレーニングは AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 に導入されたコンセプトの変更部分に特化したものです。この 1 日のトレーニングを受講することによって、新しいバージョンに対する包括的な理解を得ることができます。AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 アップグレードトレーニングにはテストはありませんが、リードアセッサーおよびインストラクターは本トレーニングを履修して初めて AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 ベースのアセスメントやトレーニングの資格が得れる点にご注意ください。

プロビジョナルおよびコンピテントレベルのインストラクター向けのアップグレードトレーニングは、VDA QMC® WG13 所属のプロビジョナルおよびコンピテントレベルのインストラクターが講師を担当します。受講者のみなさまがスムーズに AUTOMOTIVE

SPICE® PAM 4.0 へと移行できるべく、専門知識を有する講師陣が懇切丁寧に指導してくれることでしょう。アップグレードトレーニングの期限は設定されていないため、継続的に実施されます。みなさまのご要望にお応えするべく、スキルアップの機会を十分にご提供させていただく所存です。

無理なくトレーニングをご受講いただけるよう、優先順位を設定いたします。まずはコンピテントおよびプリンシパルアセッサーを第 1 優先とし、プロビジョナルアセッサーが第 2 優先となります。アセスメントに対する経験と責任が多い方に、まずはスキルのアップグレードをしていただく必要があるためです。

トレーニングの質を高め、積極的な参加を促すために、トレーニング中は全受講者に常時カメラ・オンが義務づけられます。受講開始前までにカメラの動作確認をお願いいたします。また、インタラクティブなトレーニング環境を確保するために、受講定員は 20 名に限定いたします。

新しい AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 のトレーニングプログラムへ、みなさまのお越しを心待ちにしております。今後のトレーニングセッションに関するお知らせや告知について、引き続きご関心をお寄せ願います。自動車業界の発展を胸に抱き、更なる高みを目指して共にスキルアップを続けてまいりましょう。



担当者:

Josefin Benning (josefin.benning@intacs.info)

iNTACS “新規トレーニングコースおよびコーディネーション”WG リーダー

iNTACS “ハードウェア PAM”WG からのお知らせ

間もなく intacs® より intacs® Hardware PRM/PAM の version 3.0 がリリースされます。VDA QMC® の WG13 による作業と並行して作成されたため、AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 と同じ新規コンセプトを採用しております。本ハードウェア PRM/PAM は iNTACS から VDA® に対して無償提供されるため、新しい AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 にハードウェアプロセスグループとして統合されます。

新しい VDA® AUTOMOTIVE SPICE® ガイドライン v2.0 に対しても同様です。ハードウェアプロセス関連の内容は、intacs® Hardware PRM/PAM を基にしています。

iNTACS や VDA® とは異なる HW PRM/PAM 特有の「方言」は、特に意図したものではないことをご承知おきください。つまり、HW PRM/PAM が両モデルに対して整合であることを意図してのことです。

VDA® の WG 13 と iNTACS の HW PRM/PAM WG は、各々が担当する AUTOMOTIVE SPICE® PAM 4.0 とハードウェア PRM/PAM v3.0 とを別々に編纂してきたため、現時点ではハードウェア PRM/PAM v2.1 ベースのトレーニング教材とテスト問題のみがご用意できている状態です。新しい v3.0 ベースの教材とテストの作成作業は始まっており、認証体系は VDA® QMC® と ECQA® が共同で策定する予定です。

intacs® の公認インストラクターは、公式トレーニング実施の前にハードウェア PRM/PAM のいずれかのバージョンのトレーニング受講と試験合格が必須ですので、ご注意願います。

	担当者: Pierre Metz (pierre.metz@intacs.info) iNTACS “ハードウェア SPICE”WG リーダー アドバイザー・ボードのコンビナー
---	---

iNTACS “機能安全”WG からのお知らせ

“機能安全”WG としましては、自動車業界の開発プロジェクトにおいて、機能安全と AUTOMOTIVE SPICE® の両方に対して効率的かつ効果的に対応できるためのガイダンスを、プロジェクトチームとアセッサーのみなさまに提供したいと考えております。

従いまして WG を大きく 2 つの分野に分けました：

1. 機能安全におけるコンファメーションメジャーのためのガイダンス
2. AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全の融合

私たちは規格団体との整合性を維持するために、VDA®/DIN® NA 32-08 と連携を取りながら活動しております。

機能安全におけるコンファメーションメジャーのガイダンス

「機能安全におけるコンファメーションメジャーのガイダンス」に取り組んでいるチームは、日ごろから機能安全のアセッサーや専門家としてご活躍中の方々と構成されています。彼らが活動しながら気づいたことは、機能安全におけるコンファメーションメジャーの実施のための標準化がほとんど進んでおらず、いろんな会社で様々な解釈がなされているということです。

現在私たちが取り組んでいるテーマは 2 つあり、一つ目が機能安全におけるコンファメーションのためのプロセス、もう一つが機能安全アセッサーおよび監査者の資格認定制度です。

「機能安全におけるコンファメーションのためのプロセス」に関しましては、目下のところ機能安全監査に注力しております。機能安全監査とは、プロジェクトで実施されているプロセスが ISO 26262 の要求事項に従っているかを評価する活動です。二つ目のテーマはこれと関連する形で、機能安全監査を有効な形で実施できるための資格認定制度を確立することを目指しております。

私たちのバックログには、機能安全アセスメントプロセスや機能安全コンファメーションレビュープロセス、機能安全監査者のトレーニングプログラム、機能安全アセッサーの資格認定およびトレーニングプログラムなどのトピックが控えています。

AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全の融合

「AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全の融合」のためのガイダンスを担当するチームメンバーは、現役の AUTOMOTIVE SPICE® アセッサー、機能安全アセッサー、あるいは両方として活躍中です。彼らが目の当たりにしているのは、AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全は目指すところが共通しているにもかかわらず、シナジー効果が図られているケースがほとんど無く、これら二つの命題を別々に対応しようとするプロジェクトが多いという現実です。

私たちのプロジェクトワークを通じて、AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全との間の相関関係は、3 つのレベルに分けられることが分かってきました：

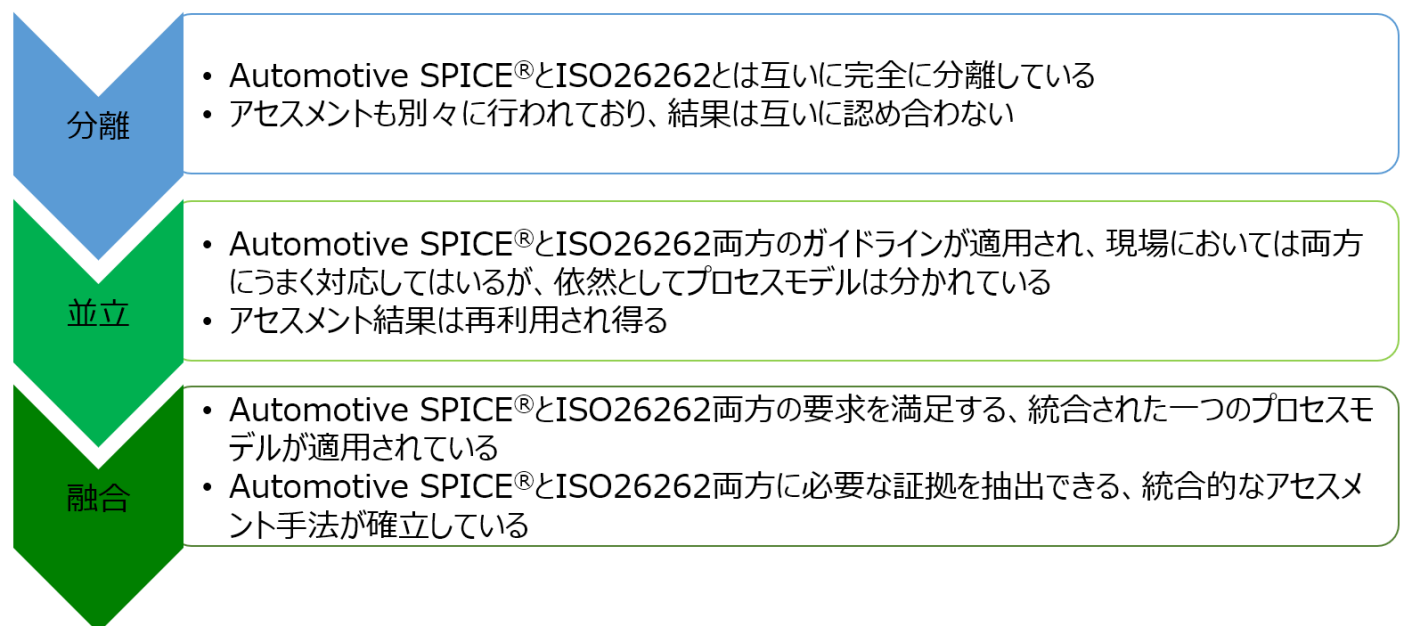


図 2: “機能安全と AUTOMOTIVE SPICE® の融合”のコンセプト

私たちもいこれまでに、開発現場において機能安全と AUTOMOTIVE SPICE® を融合しようとする様々な試みを見てまいりましたが、- 例えば ISO 26262 向け PAM である、スウェーデン自動車業界の独自規格 SS 7740 – この命題に対するデファクト的なアプローチはまだ確立していません。まずは共通の理解を一つずつ積み重ねた上で、この二つの融合に取り組む進め方が重要だと感じております。

従って、第 1 ステップとして AUTOMOTIVE SPICE® と機能安全の間に残る曖昧さを解消し、第 2 ステップでそれらの融合によるシナジー効果を引き出す研究をする、という流れで進めております。

第 1 ステップでは、機能安全監査と AUTOMOTIVE SPICE® アセスメントの違いを説明するホワイトペーパーを作成中です。意外に軽視されがちですが、共通の理解を醸成するためには重要な作業です。

第 2 ステップについては、機能安全プロジェクトにおける AUTOMOTIVE SPICE® アセスメント結果の利用について研究しており、同様にホワイトペーパーを作成する計画です。

WG の活動

私たち機能安全 WG では、一緒に活動して下さるメンバーを募集中です。偶数週に隔週で月曜と水曜に会議をしております。

	担当者： Hendrik Meyl (hendrik.meyl@intacs.info) iNTACS “機能安全”WG リーダー
--	--

Gate4SPICE イベント：“品質優位の原動力：メルセデスベンツ R&D インド社が Gate4SPICE イベントを主催”

自動車業界において、コネクティビティ、安全、技術革新、そしてサステナビリティといったテーマに対する意識と対応が強まる中、こういった異なるテーマをユーザーエクスペリエンス再定義へとつなげるための共通解となるのが、卓越した品質でしょう。2023 年世界品質週間の一環として、Mercedes-Benz® R&D インド社(MBRDI)では、Gate4SPICE イベント「Ignite. Innovate. Inspire, AUTOMOTIVE SPICE®と共にモビリティの道を開く~品質アセスメントのためのベンチマーク」を開催いたしました。

2 日間のイベントを通じて、グローバルなアセッサーコミュニティが一堂に会し、SPICE 関連のトピックについて活発な意見交換がなされたと同時に、持続的な改善文化の重要性を啓発することができました。また、車載ソフトウェアの安全性および信頼性に対する意識を業界全体で高めることによって、車載ソフトウェアの品質を向上することについても、議論いたしました。様々な自動車サプライヤーおよび OEM から、AUTOMOTIVE SPICE のプロビジョナル、コンピテント、プリンシパルの全ランクのアセッサーや、MBRDI から各種部署のリーダーらが参加し、多様な経歴やバックグラウンドを持つ参加者同士で触発し合える、貴重な交流の場となりました。



図 3: インド・バンガロールにて開催された、2 日間の Gate4SPICE イベント参加者のみなさま

MBRDI の Manu Saale 社長は 開会の辞にて、「我々 Mercedes-Benz にとって、品質が全てです。コネクテッドな未来へと進むにつれて、新しい挑戦も続々とやってきます。このようなリスクを考えると、プライバシーを保護し安全で確かな未来を守るための幾重もの傘となってくれる、AUTOMOTIVE SPICE® のようなプロセス改善フレームワークを、学習しマスターする必要があります。」と述べました。



図 4: MBRDI 社 Manu Saale 社長による Gate4SPICE 開会の辞

Mercedes-Benz グループは、ソフトウェア開発プロセスの品質と効率の向上に重きを置いているため、AUTOMOTIVE SPICE® は重要トピックとして取り組んでおり、企業ビジョンである#LeadInCarSoftware に邁進しています。

プリンシパルアセッサーかつ認定インストラクターである、IQI コンサルティングサービスの Ravindra Nath 氏は、「近年このような大規模な Gate4SPICE イベントを目にしたことはありません。MBRDI は今回のイベントで自動車業界におけるスタンダードを更新したようです。インドの主要な OEM やティア 1 サプライヤから 65 人もの参加者が集って積極的に意見交換をし、AUTOMOTIVE SPICE®に関するトピックや最新技術、新たなイノベーションなど、幅広いテーマについて議論がなされました。」と話しました。

本記事および画像は Mercedes-Benz R&D インド社(MBRDI)よりご提供いただきました。

免責事項、商標および商号

ニュースレターの登録やキャンセルは、intacs.info にログイン後、“プロフィール編集-ニュースレター/言語”にて行えます。

商標

商標の使用に関し、各パートナーと合意した以下の詳細についてご留意願います。

intacs®、Agile SPICE®、Automotive SPICE®、VDA QMC®、ECQA® は登録商標です。左記商標および関連ロゴの使用は、いかなる種類の証明書にも使用が禁止されています。

他の目的でロゴを使用する際には、必ず事前に当該権利保有者から書面による承認を得る必要があります。いかなる違反もアセッサー資格の喪失や、法的措置を引き起こす可能性があります。アセッサー資格認証の初回および更新申請に関する「[アセッサー資格認証申請書](#)」中の記述にもご留意願います。

この文書で使用されている商標:

- Automotive SPICE®, ASPICE®, VDA® および QMC® は VDA Verband der Automobilindustrie e.V., 10117, Berlin, DE の登録商標です。
- ECQA® は Reiner, Michael, 3552, Dross, AT の登録商標です。
- Medical SPICE® は Hölzer-Klüpfel, Matthias, 97082 Würzburg, DE の登録商標です。
- VDI® は Verein Deutscher Ingenieure, 40468, Düsseldorf, DE の登録商標です。
- DIN® は DIN Deutsches Institut für Normung eV, 10787 Berlin, DE の登録商標です。
- Mercedes-Benz® は Mercedes-Benz Group AG, 70372 Stuttgart, DE の登録商標です。
- iNTACS®, intacs® および Agile SPICE™ は International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), 51147, Köln, DE の登録商標です。

翻訳

すべての翻訳は正式版である英語版ニュースレターに基づいています。英語版並びに全翻訳版とも intacs e.V.の所有です。
本ニュースレターを翻訳してくださった翻訳者の方々に感謝申し上げます。

	中国語翻訳者: Yawen (Evan) Hou iNTACS “情報管理”WG メンバー
	日本語及び韓国語翻訳者: 蔡光浩 (khche@cnbis.co.kr / chekwangho@quantumassoc.co.jp) iNTACS 韓国代表

ご意見およびフィードバック

ニュースレターに関するご意見やフィードバックはおありでしょうか？

皆様からのフィードバックをお待ちしております！

Thomas Kömmerling & Team より

	担当者: Thomas Kömmerling (thomas.koemmerling@intacs.info) iNTACS “情報管理”WG リーダー アドバイザリーボードメンバー
---	---

International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), Herderstr. 7, 51147 Köln, Germany